

2026年3月15日春の学習交流会感想（記述部分）

本日の講師のご発表および各グループからの発表への感想をご記入ください

16 件の回答

●日頃の授業実践の貴重な発表をお聞かせいただき感謝申し上げます。現代社会生活は、日々変化しています。その中で生徒たちに何を伝えることが大事なのかを改めて考える必要を感じました。現代社会に乗り遅れない教育なのか、どんなに社会が変わっても変わらないことを教えるべきか、それが課題と思いました。

●これまで「技術・家庭」として一つの教科だった意味を実感するご講演でした。

●教科に関わりなく、生徒のきずきや学びをきちんと拾っていて、生徒主体の学習になっていた点

●木島先生の研究課題は私自身も同様のものでした。技術分野の木材加工の実習において、生徒に思考して見通しをもって学びを進めてほしいという思いから、伝統的な学習観を転換するための工夫をされていました。私は家庭分野の被服製作実習において、いまだに道具の使い方から製作手順まで逐一説明していて、最近、このような授業に疑問を感じていました。ただ、生徒が机の上でノコギリを使っていた時には注意したくなりましたので、安全面を考えると道具の使い方は始めに説明したいと思いました。若い先生方の実践や研究を拝聴し、私も授業を工夫していきたいと思いました。ありがとうございました。

●とても勉強になりました。木島先生の実践は、主体的対話的な深い学びと個別最適化と一見相反する取り組みをつなぐのに、こうすればいいと示唆をさせていただいたものでした。やはり、そのためには生徒の様子を見とる力を教師が身につけなければならないことを感じました。有友先生の実践は、本来 IoT は考えるプロセスを省くための機器であるところを、試行錯誤のツールとしての活用との味方が勉強になりました。AI をこれからどう活用するかが求められますが、活用の視点をいただきました。

●木島先生、有友先生ご発表大変ありがとうございます。Jことだと感じました。単元の中で、学びの選択ができる授業、実生活と結び付けて、自分は??と考えていく授業には、生徒が主体的に学びを深める姿が発揮されると感じました。必ず、省察を入れ、自分の変容

を実感していくことや多様性を見取って、共有していくことで生徒自身が新たな視点を自分に取り入れ、確かな学びを作っていくということも学ばせていただきました。本当に素晴らしいご実践をありがとうございました。

●所用があり、2部の交流会に参加出来ずにとても残念でした。また、ご迷惑をおかけしてしまったのではないかと心苦しく思っています。お二人の先生方のご発表はとても勉強になりました。ありがとうございました。

●ものづくりを通して学ぶ教科であるからこそ、試行錯誤、協力や対話が生まれやすいと思う。もっと学校教育の中に、実体験を伴う活動が増えることで子どもたちの学習の幅が広がると思う。

●教員がまずは勉強する必要があることがよくわかりました。生徒への対応をきちんと考えて行うことの大切さをあらためて学ばせていただきました。ありがとうございました。

●誠実さと熱意を持って、子どもたちが主体的に取り組む授業を作っておられる様子に感銘を受けました。特に、注目すべき具体的観点を示して、気づき、言語化、見通しにつなげている点、子どもが学び方を学ぶことができるようにしている点などが、素晴らしいと思いました。「教師が変われば、子どもが変わる」ことがよくわかりました。

●私自身は家庭科が専門ですが、木島先生の実践はものづくりのプロセスにおいては共通する部分がたくさんあり、授業の組み立て方がとても参考になりました。最後の意見交流の共有でも話題にあがっていましたが、安全面に関する指導は必要なところをおさえつつ生徒の思考を止めない手立てにしなければいけないところが難しいと感じました。有友先生の実践に関しては、将来の生活を見据えた実践で生徒がワクワクしながら活動している姿が想像できました。家庭科の学びが生活に生きてると実感するタイミングは人それぞれですが、多くの生徒が一人暮らしをしたときにも強く感じると想像します。そう考えると、今の生活のベーシックよりも未来の生活を想定して学ぶことは生徒たちにとって有意義な学びになるのではないかと感じました。教員として生活の新しい情報を常にリサーチする必要があると感じました。また、予測困難な時代だからこそ、未来の生活で最適な生活の方法を自分の意思で選べるように、学び方を学べる授業でありたいと思いました。

●講師のお二人からは、これからの社会においてより良い生活を送るために必要となる柔軟な考え方を養う授業をご提示いただきました。大学で家庭科の先生を養成する立場として、幅広い視点を持たせるようにと考えさせられました。ありがとうございました。

●授業者側の意識改革が授業改善には不可欠だと実感いたしました。

●お二人の発表から新しい視点をいただき、来年度の授業改善に努めていきたいと感じました。

●子どもたちにとっても誠実に向き合っている先生方の事例提案をいただきました。「誰かのために」とともに「自分のために」も大切にできる生活者を育てたいと思います。ありがとうございました。

●お二人の先生の実践がとてもすばらしく、生徒自身がものづくりを通して主体的に試行錯誤している姿が想像できました。こういう学びを子どもたちに受けて欲しいと思うと同時に、そのような学びを実践できる家庭科教員や技術教員を養成することの難しさも感じました。

「学習交流会」について、また、全体的な日程について等ご意見等がございましたらご記入ください。

10 件の回答

●日程については、これでよいと思います。ただし、家庭科の先生が多いですね。技術はますます減るばかりです。学校教育の中で考えないとこれから大変なことになると思います。

●現在の形でいいと思います。

●特にありませんが、今後とともに学ばせていただきたいと思います。

●学習交流会の企画、運営等々お世話になりました。ありがとうございました。

●この日程で良いと思います。

●今回のような内容はたくさんの方に聞いて、一緒に考えていただきたかったですが、年度末のためか現役の中学の教員の参加者が少ないのが残念でした。

●多くの情報が提供され、共有することができ、非常に有意義でした。現職の小中高の先生方が、学習交流会に参加して下さるために工夫が必要ですね。

●休日のオンラインでの参加としては、グループ討議は参加しにくい環境です。

今後取り扱ってほしいテーマがございましたら、ご記入ください。

8 件の回答

●これから起きるであろう「情報・技術」「家庭科」の教科の分離とどう向き合うべきか

●今回はとても良かったので、今回のテーマを引き続き深める形で継続でもいいかと思えます。

●新教育課程に向けての技術・家庭科の動向と意見交換。学習会実行委員の先生方、講師の先生方のおかげで有意義な時間となりました。どうもありがとうございました。

●現場での授業の工夫やお困りごとの交流、他教科・他分野との連携の事例と工夫。

●時期学習指導要領に関連した研修があれば参加したいです。

●新しい情報を提供していただいていることに感謝します。ものづくりの視点でのテーマを引き続きお願いします。

●限られた時数の中での探究的な学習の組み立て方について学びたいです。

●次期学習指導要領について詳しくお話をお聞きしたいです。(9月のテーマだったのでしょ
うか。)